

手塚治虫

過去と未来のイメージ

展

「手塚治虫」を創ったもの。
手塚治虫が創った「モノ」。



©手塚プロダクション

1996年8月6日[火]…9月8日[日]

開館時間：午前9時～午後5時(入室は4時30分まで)初日は午前10時開展

金曜日は午後7時まで開館(入室は6時30分まで)月曜日休館

入場料：一般900円(720円)／高大生600円(480円)／小中生300円(240円)

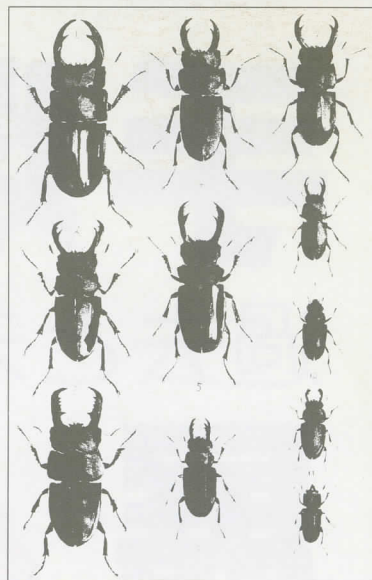
※()内は前売りおよび団体20名様以上／高松市に住所を有する長寿手帳・身体障害者手帳および療育手帳所有者は入場無料

主催：高松市美術館／手塚プロダクション／朝日新聞社／**KSB** 瀬戸内海放送

協賛：安田生命保険相互会社 協力：齋手塚治虫記念館／浜名梱包輸送株式会社

高松市美術館

高松市紺屋町10-4 ☎0878(23)1711



「手塚治虫」を創ったもの。手塚治虫が創った「モノ」。

宝塚市立手塚治虫記念館所蔵『昆虫手帳』『幽霊男』『勝利の日まで』一挙全展示。

新作アニメーション『^{こんちゅう}昆虫つれづれ草』上映。

第一部 テーマ別原稿展示

生命の不思議／人間と科学／ミステリアスなものへの憧れ・異端／戦争批判

第二部 デザイナー手塚治虫の世界

ロゴマークデザイン／映画的手法／絵としての完成度／近未来都市

ロボット・メカニックデザイン／擬人化・架空生物／キャラクターデザイン

手塚治虫(1928年-1989年)は、ストーリー漫画やテレビアニメーションの創始者で、「漫画の神様」ともいわれ続けました。生涯に原稿15万枚、700以上の作品を残しています。最近も文庫本などが次々復刊され、その面白さはいつの時代になってもあせることなく、世代を越えて人々に愛されています。

天才は、いかにしてはぐまれたのか。本展では、第一部として、その才能の片鱗が見られる少年時代の資料を集めました。根っからの昆虫少年だった手塚が、図鑑を綿密に模写した甲虫図譜、昆虫をテーマにした論文や小説を盛り込んだノートなど、実存する15冊をまとめて公開します。また、『昆虫つれづれ草』というエッセーを基にしたアニメーションを特別に制作し、上映します。昆虫を通して自然と親しみ、自然を愛し続けた作家の姿が見えてきます。

戦時下の日々、手塚少年のもうひとつの心の支えは漫画を描くことでした。16歳の『勝利の日まで』と17歳の『幽霊男』は、今回初めて全容を公開します。とくに、本格的なSF長編大作『幽霊男』は、独創的な描写表現が随所に見られ、のちのアトムにつながるキャラクターやヒゲオヤジの登場など、手塚漫画の原点ともいえる作品です。ストーリーの展開、登場人物のユニークさなど、17歳でその才能を開花させています。

第二部では、手塚が創り出したキャラクターが観る人の動きによって変化するラスターバリア、『三つ目がとおる』のトロコテン機械(=戦争のような愚かなことを考え出す脳はトロコテンにしてしまおうという機械)のオブジェ、光や音響を多用した展示で、楽しい手塚の未来ワールドが広がります。

●記念講演会

『手塚治虫～過去と未来のイメージ』

講師◎夏目房之介

(なつめ ふさのすけ/マンガ・コラムニスト)

日時：8月11日[日] 午後1時30分開演

場所：高松市美術館 講堂

入場料：無料(先着200名様)

●次回展覧会のお知らせ

カミュー・クロード展

会期：9月28日[土]…10月27日[日]

●催し物のお知らせ

ミュージアムライブ

『新良幸人 with サンデー』

日時：9月5日[木] 午後6時30分開演

